



特定非営利活動法人

# 医学統計研究会

Biostatistical Research Association

Newsletter No.2 (107)

2013.2.27

「梅見月」というように、季節が旧暦に因んだ日本の風土に合い寒さも旧暦に添って動いているようです。瞬く間に2月が「にげて」いきます。会員の皆様には、その後もご健勝のことと拝察いたしております。一歩だけ進んだ2月の活動記録を以下にご報告申し上げます。

1 定例研究会[東京]2013-2-1 が以下の次第で開催されました。

日時：2013年2月1日(金). 13時～17時.

会場：生涯学習センターばるーん302会議室.

プログラム：

山口祐介. 博士(学位)論文を提出して.

五十川直樹. 臨床評価過程におけるBayes流接近法.

大江基貴. 平滑化ROC曲線.

丸尾和司. 統計的変換論：続き.

藤澤正樹・後藤昌司. 『実験計画法の基本概念』(7章から12章)

Ottestad, P. (1970). Statistical Models and Their experimental application.

Griffin's Statistical Monographs and Courses 25.

後藤昌司. 計画と遂行の過程：2013年を迎えて.

課題検討会は「安ん座」で開催され、最近の臨床評価に関する話題で議論が沸騰しました。



— 定例研究会のひとこま —

2 特定主題シンポジウム「臨床試験における適応型計画を再考する」が以下の次第で開催されました。

日時：2013年2月2日(土). 10時～17時.

会場：アステラス製薬株：会議室[日本橋].

多数の方々が参加され、熱い議論で盛り上がりました [参加者 36 名 支援参加者 18 名]。以下に参加者からの感想をまとめて掲載いたします。



—特定主題シンポジウム2013-2-2のひとこま—

★ちょうど中間解析を実施したところで、すごくあいまいだった点がすっきりしました。また、いくつか検討が不十分だったと気づくことができ良かったです。ただ、正規性を仮定しておりましたが、それ以外の場合にはどうなるのでしょうか。 K.Y

★各演題とも内容が充実しており、非常に勉強になりました。標本サイズの再設定は現在の業務でもたびたび用いるために参考になりました。スライド資料も判りやすく復習も可能な内容で助かります。次回は、可能でしたら、SAS プログラミングの紹介など、より実務に直結した具体的な内容について聴講できたら、大変にありがたく思います。Bayes 流接近法およびそれに基づく標本サイズの再設定の事例紹介は今後ご講演いただけるようにお願いします。 匿名

★とくにパネル・ディスカッションが興味深かった。特定の事例を対象にされていたが、集中して議論される機会は多くないように思う。各種の会で適応型計画の統計的手法は議論されているため、今回のパネル・ディスカッションのような企画が多くあると良いと感じた。 匿名

★近年に注目を集めている内容であり、非常に有益であったと感じました。欠測データに対する解析・多重性調整 (Gate keeping) に関する演題を希望いたします。 匿名

★ただただ勉強になりました。もっと勉強したいと思いました。適応型計画を採用する場合のデータ・マネジメント業務のオペレーションについて講演を期待いたします。通常の試験よりもスピーディな対応の高頻度なデータ・ロックが発生すると思いますが、経験がないので、注意点や、どの程度までデータ・クリーニングするかなどの知見を知りたい。

M.H

★適応型計画について非常に理解を深めることができました。とくに森田智視先生がご紹介されました臨床試験の話にはインパクトがありました。

匿名

お礼：本シンポジウムに貴重な時間を割いてご参加いただいた方々、および講師の中島吉弘・弘 新太郎・菅波秀規・武田 純・手良向 聡・森田智視の先生方にお礼を申し上げます。廣岡秀樹さんと伊藤雅憲さん、さらには魚井 徹さんには本シンポジウムの組織者として、そしてパネル・ディスカッションの進行役として伊藤さんとともに武田健太郎さんにお世話になりました。重ねてお礼を申し上げます。さらに、座長の労をとっていただいた越水 孝さんと河合統介さんにお礼を申し上げます。本シンポジウムでは、臨床試験における地道な実践的テーマとして適応型計画をとりあげ、その諸問題を議論していただきました。参加された方々の声に反映されているように大変に実りの多いシンポジウムでした。本シンポジウムの開催の意義と価値に共鳴され、陰で支えていただいた廣岡さんと伊藤さんをはじめとして、アステラス製薬株のお仲間の方々、吉田 哲、黒石健太郎、朝比奈誠太郎、坂谷泰史、滝澤昌臣の方々には裏方として、大変にお世話になりました。深く謝意を表します。ありがとうございました。今後とも皆様とともに、本主題に絡むシンポジウムを続けていきたいと考えております。よろしく願いいたします。

事務局一同・後藤昌司

3 定例研究会[大阪]2013-3-16 と定例研究会[東京]2013-3-16 の合同例会を以下の次第で開催いたします。

日時：2013年3月16日（土）。

会場：大阪大学基礎工学研究科G棟

現在プログラムを作成中です。奮ってご参加いただくと幸いです。

4 大分統計談話会・第47回大会が以下の次第で開催されました。

日時：2013年2月14-15日（木-金）。

会場：富士通大分システムラボラトリ

プログラムの詳細はホームページ[http://www.solution-labo.com/danwa/new\\_menatwork.html](http://www.solution-labo.com/danwa/new_menatwork.html)に掲示されています。特別講演2題と特別セッションを中心に大変に活気のある魅力的な会合でした。





—大分統計談話会・第47回大会のひとこま—

5 今後の予定を簡潔にお知らせいたします。

(1) 平成24年度・第3回理事会を上記の定例会[大阪]2013-3-16と定例研究会[東京]2013-3-16の合同例会の折に開催いたします。

日時：2013年3月16日(土) 11時~12時

会場：大阪大学基礎工学研究科G棟

議題1：「改正NPO法」への対処

議題2：平成24年度事業報告

議題3：平成25年度事業計画

議題4：事務局体制

議題5：その他

(2) スプリング・フォーラム2013を以下の次第で開催します。

日時：2013年4月6日(土) 12時頃~

会場：(候補) 東京都文京区小石川・播磨坂さくら並木

組織者：高瀬貴夫・藤澤正樹・河合統介・伊藤雅憲・丸尾和司・五十川直樹

(3) 日頃からいろいろとご支援いただいている会員の皆様に改めて申しあげることが憚られますが、平成24年度(2012.4.1~2013.3.31)会費未納の方々には、早急に納入していただくようお願い申し上げます。医学統計研究会は特定非営利活動法人として、あくまで会員の方々のご本人の「自主性」と「志」を重視していますので、ご高配いただきたくよろしく願いいたします。

さらに、3月にはいってすぐに、すべての会員の方々へ平成25年度[2013.4.1~2014.3.31]の会費納入のお願いを差し上げます。どうぞご協力をよろしく願いいたします。

Newsletter 編集：

後藤昌司・栗林和彦・坂本 亘・富金原 悟・河合統介・藤澤正樹・杉本知之・大門貴志・伊藤雅憲

連絡先：医学統計研究会 事務局 [亀山 日名子・後藤 孚・山口祐介]

〒560-0085 豊中市上新田2丁目22-10-A411号

Tel & Fax : 06-6835-8790 / e-mail : bra\_goto@ybb.ne.jp / URL: <http://www.bra.or.jp>

本ニューズレターの転載は全文・部分を問わず禁止させていただきます。